

令和2年度（2020年度）の事業報告書

特定非営利活動法人セカンドスペース

1 事業の実施報告

令和2年度（2020年度）の事業実施の報告として、青少年育成の為のカウンセリング事業の内、ふなばし地域若者サポートステーション事業においては、就労支援対象者を従来の15歳～39歳から15歳～49歳までに拡大し、就職氷河期世代（40歳～49歳）の支援が強化された。また、今年度より新たな委託先として習志野市が加わったことや、ホームページアクセス数増加による新規登録者獲得により、更なる支援体制が強化された。結果として、コロナ禍にも関わらず、進路決定者数は当初目標の108名を上回る数値となる。

不登校・ひきこもり者への社会参加促進事業の内、葉県子ども・若者総合相談センターにおいては、電話相談・若者支援プログラム参加者が増加した。一方で、コロナ禍の影響もあり、緊急事態宣言時においては来所相談および保護者向け勉強会（親の会）を中止した。

青少年育成の為の各種養成講座事業の内、セカンドスペース事業においては、不登校・ひきこもり状態にある方などの学校復帰や社会復帰を目指すために、福祉支援者を対象としたセミナー・研修の開講を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催に至らなかった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

	主な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び実施人数
青少年育成の為のカウンセリング事業	<p><ふなばし地域若者サポートステーション事業> (働くことに悩みを抱えている15歳～49歳の方を対象に就労支援機関)</p> <p>1. 早期就労を意識したキャリアコンサルティング、特に就職氷河期世代(40歳～49歳)への支援体制強化 2. 就労相談や生活相談等の個別相談 3. 新規利用者獲得のための施策 4. 関係機関(企業・福祉機関・公的機関等)との連携強化</p>	通年	千葉県船橋市	14名	就労について関心のある15歳～49歳までの方およびその保護者等不特定多数 新規登録者数：147名 進路決定者数：120名 相談件数：2,299件
	<p><セカンドスペース事業> 千葉県社会福祉協議会との連携 (合同就職フェアへのブース出展、参加求人企業との連携強化、研修事業における連携、弊法人主催研修の告知、社協との合同開催)</p>	年6回	千葉県各地	7名	求職者：延べ400名 支援機関：延べ200機関

	主な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び実施人数
不登校・ひきこもり者への 社会参加促進事業	<p><千葉県子ども若者総合相談センター事業> (39歳までの子どもや若者、その保護者や関係者のお話を伺い主訴に沿った専門機関を紹介)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 電話・メール・web相談 2. 来所相談 3. 家族向け勉強会(親の会) (コロナ禍により年4回に開催縮小) 4. 関係機関との連携及び事例検討会 及びケース検討会議の開催 (コロナ禍により実施せず) 	通年	千葉県	12名	<p>39歳までの子どもや若者、その保護者や関係者</p> <p>相談総数：2,201件 電話相談：1,833件 メール・web：128件 来所相談：240件 新規相談数：481件 親の会：13名</p>
青少年育成の為の各種養成講座事業	<p><セカンドスペース事業> 支援者の支援力向上のために、セミナーや研修を通して家族・訪問支援等に関する知見や技術を提供する</p>				新型コロナウイルスの影響により実施見送り
	<p><ふなばし地域若者サポートステーション事業> 早期就職の実現および将来のキャリア形成のためのセミナーやイベントを運営する</p>	通年	千葉県 船橋市	8名	<p>セミナー参加者数：538名 保護者セミナー等：130名 個別相談会：93名</p>
	<p><千葉県子ども若者総合相談センター事業> 生活リズムの見直し、復学・復職のために、若者支援プログラムを運営する</p>	通年	千葉県	3名	<p>義務教育終了後～33歳までの若者</p> <p>年間延べ参加者数：223名 新規登録者数：10名</p>